

戸田 あつひろ 活動報告



戸田敦大(とだ あつひろ)
昭和60年6月24日生まれ(36歳)

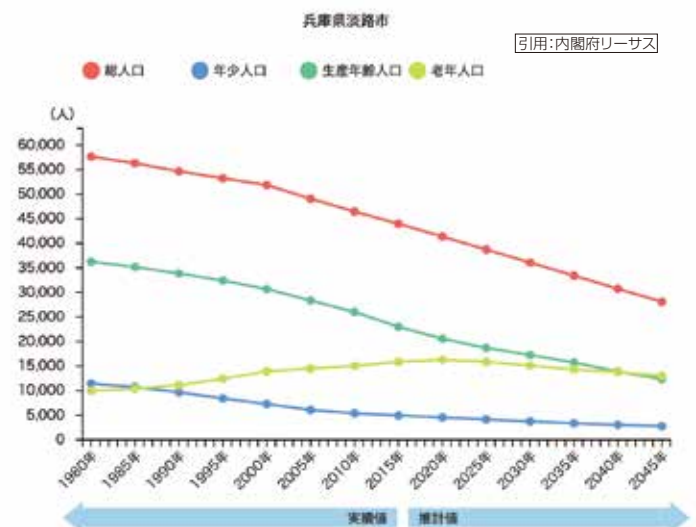
ご挨拶

皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。議員1年目の知識、経験の無い中まだまだ粗削りではございますが、淡路市を想う気持ちは誰にも負けません。

20年、30年先の私たちの子供や孫の世代のこれからの淡路市のために今できることは何か？持続して発展していくためには何が必要かを探りながら、淡路市に住む全ての人が「淡路市が好きだ」と心から思えるような市政を目指して活動して参ります。

現在、淡路市は人口減少、少子高齢化による生産年齢人口(15歳～65歳の現役世代)の減少、老年人口(65歳以上)の増加による人口動態の変化による社会構造の変化が急務となっております。

また、淡路市の高齢者比率は38%と全国平均の29%と比較しても非常に高く、全国平均の推移の約30年先にあると言われています。このままのペースで少子高齢化が進めば、各種インフラや医療や介護等の社会保障、地域コミュニティ等の維持が困難になることは火を見るよりも明らかなです。このままでは自治体そのものの存続も危ぶまれる中、対応が急務となっております。



このことから、9月議会、12月議会では一般質問等で以下の提言を行いました。

学童保育の整備が必要!

今後、現役世代の減少により共働き世帯が増えてくることから、学童保育のソフト/ハード両面の整備が急務です!

特に受け入れ時間を現状の18時から19時まで延長することを求めます!



ICTを(情報通信技術)を利用した自治体サービスの拡充!

マイナンバーカード等の新たな技術を利用した、効率的で便利な自治体サービスの拡充を!

また、そのための市役所内の人材育成に加え、市民でデジタルの苦手な方へのフォローの徹底が必要!



子ども達の新たな学び (GIGAスクール構想)

これからの時代を生きていく力を子ども達に身につけてもらいたい!

加えて、子供たちの「情報活用能力(仕組みの理解、実践力、情報モラル)」を伸ばす必要があります。



3月議会では一般質問にて下記の提言を行いました。

元気な高齢者の活躍の場の整備

団塊の世代が後期高齢者となる、いわゆる「2025年問題」により医療費や介護費が増大し、それに伴い現役世代の負担が増大します。令和4年4月1日より施行された年金制度の改定(在職定時改訂)からも見てとれるように、今後、高齢者と言われる方々の活躍の場づくりが今まで以上に必要になります。また、今まで人生の経験や知識が豊富な方々に活躍していただくことで社会にとってもプラスになります。これらを通し地域共生型社会の実現にも繋がると考えます



コロナ禍での学習環境について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大第6波により、市内小中学校の多くが学級閉鎖を余儀なくされました。こういった時にこそ小中学生の1人に1台整備されているタブレット端末を利用したオンラインで授業を行うべきであると考えます。

しかし、現状はタブレット端末を教室に置いたまま家庭に持ち帰らないようになっているため、いざという時に利用できません。洲本市、南あわじ市の児童はタブレット端末を家庭に持ち帰っており、夏休みや冬休みの宿題の一部もタブレット端末を利用して提出しています。

このことから淡路市でも同様に家庭に持ち帰り、今後の感染拡大が起こった場合に子ども達の学びを止めないよう環境整備を行う必要があります。



【請願3号「私有地放置ゴミ撤去に関する条例の制定に関する請願」の賛成討論を行いました。】



以下、討論より一部抜粋

「近年、本請願のように市町と都道府県にまたがる部分での問題というのが増えており、今後ますます増えてくるのではないかと考えております。それは現在も増えつつある民家と隣接する中で開設されている民泊や貸別荘からの騒音等による近隣住民とのトラブルや、水上バイクによる事故やトラブル等の問題もそうです。」

法整備の届かない部分での事故やトラブルに対して、被害を被るのは常にそれに巻き込まれる市民です。単に管轄が県だから対応出来ないとするのではなく、「観光田園都市」を標榜する本市だからこそ、このような問題に議会として対応していく必要があると考えます。初めから100点満点だけを狙って取りに行っても0点で終わるのではなく、まずはできる範囲で対応していくという姿勢が議会に求められていると考えます。私たち議会議員は市民からその姿勢を求められているのではないのでしょうか。」

請願3号は反対多数で否決されましたが、引き続き市民の目線に立って活動して参ります！



3月議会では新年度の予算を審査する「予算審査特別委員会」も開かれました。

注目予算 一次産業支援

「農業水路等長寿命化・防災減災事業」

7,020万円(約2,200万円増額!)

淡路市はため池の数が日本一多い市です。地震や豪雨に備えるためにため池の耐震施策を行い、ため池や水路の長寿命化だけでなく、下流域にお住まいの方々の安心安全を確保します。



「小中学校特別教室空調整備事業」

約1,900万円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、特別教室に空調を整備します。



「津名中学校大規模改造事業」

約4億3400万円

築36年となる津名中学校舎の大規模改修を行います。



「ふるさとづくり推進事業」

好調に推移している「ふるさと寄付金」制度に関わる事業です。

今年は寄付額12億円を目標としています。



「漁業振興対策事業補助金」

8,960万円(約7,800万円増額!)

水産物の安定供給に向け、ヒラメやマダイ等の種苗放流の中間育成や水産資源の回復、漁業共同利用施設等の機能充実などの取組みに対し助成を行い、漁業経営の安定化を図ります。



国や県、市に各種要望を出させていただきました!

自己紹介

戸田敦大(とだ あつひろ)
昭和60年6月24日生まれ(36歳)
岩屋中学校、明石高校、甲南大学経営学部 卒業

略 歴 2008年 ゼブラ株式会社 入社

営業として名古屋支店勤務。主に北陸地方を担当する。地方と都市部の格差や、地方の疲弊を目の当たりにし、淡路市へ帰ることを決意する。

2010年 淡路砥油株式会社 入社

2014年 津名武道館にて合気道教室を始める

2019年 淡路市商工会青年部 部長

2021年 兵庫県商工会青年部連合会 筆頭副会長
淡路地区商工会青年部連絡協議会 会長

淡路市議会では 産業厚生常任委員会 広報広聴特別委員会 所属しています

趣 味 合気道(三段、津名武道館にて合気道教室を運営しています)

読書(市の図書館で借りることが多いです)

ランニング(フルマラソン完走を目指しトレーニング中です)

家 族 妻と3人の娘(4歳、7歳、9歳)の5人家族です。



淡路市議会議員

とだ あつ ひろ

戸田 敦大

携 帯:090-6913-7785

事務所:〒656-2401 兵庫県淡路市岩屋1414-1

MAIL:toda-atsumihiro624@all-impulse.com



こちらのQRコードからも
皆さまのご意見ご要望を
お聞かせ下さい!

